

地方創生の取り組み

社会貢献活動の取り組み

当社は、東日本大震災発生以降、社内組織に「社会貢献室」を設置し、継続的に被災地・過疎地区での支援活動を実施しています。

更に、より地域に密着した支援活動を行うため岩手県奥州市に「特定非営利活動法人IT工房ひのき」を2012年11月に設置してICTの活用による支援活動を展開しています。また、これまでに培った災害支援ノウハウを活用し、近年多発する自然災害で被災された地域・被災者の方々へのボランティア活動や過疎地区での里山保全活動、イベント支援活動など、活動の範囲を広げ社会貢献活動を行っています。

【熊本地震】災害支援活動と熊本市役所支援

2016年4月に発生した熊本地震に対し、これまで培ってきた災害支援の経験を活かし、延べ45名が災害ボランティアセンタースタッフとして、瓦礫撤去、引越し、清掃などの災害ボランティア活動を行いました。

更に、熊本市役所より罹災証明発行窓口の支援要請を受け、社内公募で手を挙げた7名の社員が現地に約4か月滞在し、罹災証明に関する受付窓口システムへの入力作業などの支援活動を行いました。その他に、甚大な被害を受けた被災地の早期復旧・復興にお役立ていただくため、熊本市に対し義援金100万円を寄付しました。また、被災者の避難所となっている福祉施設に対しては、コミュニケーションロボット「PALRO」を提供し、被災者の心のケアにお使いいただいています。更に、体育館を避難所として提供している小中学校に対し、全校集会ができるよう総合教育ソリューション「みらいスクールステーション」を無償提供しています



熊本市役所での作業支援の様子

【岩手県大船渡市】「テレワークセンター」設置と雇用創出

東日本大震災により甚大な被害にあった大船渡市の地方創生に貢献するため、2015年10月にテレワークセンターを設置しました。テレワークセンターは、津波で被災した公営住宅の1F部分を利活用し、地元住民が自由に使用出来るオープンホール、会員制のコワーキングゾーン、当社専用のプライベートゾーンに分かれ、機密を保持し且つ地元密着型の快適な作業環境となっています。大船渡テレワークセンターへは首都圏より2名の社員を配置し、首都圏の仕事を地方で行う仕組みを作ったり、5名の地元雇用を行い、IT技術者の育成を行うなど、積極的に地方創生に向けた産業創出・地元雇用へ取り組んでいます。



大船渡テレワークセンター内の様子

【岩手県下閉伊郡田野畑村】ICT 基盤整備・開通

岩手県庁を通じて、田野畑村より当社IT技術者派遣の要請を受け、2015年2月より社員2名を田野畑村役場に派遣しています。2名の社員は、当社で培った技術力を最大限に発揮して、田野畑村のICT化に携わっています。この度、総務省、復興庁の補助金を獲得し、同年10月に田野畑村全村で光ブロードバンドを開通、12月には公衆Wi-Fiを観光拠点8カ所、防災拠点5カ所に設置するなど役場職員として、田野畑村のICT活用による「新しいまちづくり」に寄与するため活躍しています。



田野畑村役場での様子

< 2015年4月～2016年7月のボランティア活動 >

- 熊本県熊本市の熊本地震に対する災害復旧支援（10回）
- 茨城県常総市の鬼怒川決壊に対する災害復旧支援（4回）
- 岩手県下閉伊郡田野畑村でのイベント開催（4回）
- 岩手県宮古市での「パソコン教室」開催（1回）
- 岩手県上閉伊郡大槌町での「お茶っこ（パソコン（家電）相談）」（1回）
- 岩手県大船渡市での「サンマチ」イベント支援（1回）
- 福島県大沼郡三島町・金山町・昭和村での里山保全活動（8回）
- 休耕地・耕作放棄地の一斉耕起・草刈支援、雪かきボランティア、イベント開催・支援
- 福島県耶麻郡西会津の限界集落支援ボランティア（4回）



豪雪地域での雪かきボランティアの様子

ボランティア実施件数

33件